

増加する救急件数に対応するために

県内初

機動的に救急空白地域の発生を防ぐ救急車

モ ア 機動的救急隊
M.O.A. (Move Over Ambulance) を創設!

問い合わせ 消防救急課 ☎ 254-1600 📠 254-1607

津市では、救急要請を受けると各消防署に配備されている救急車が、最寄りの署から現場へと向かいます。その際、救急要請が重なると管轄区域内に一時的に救急車が待機していない救急空白地域が発生することがあります。また津市内の令和5年救急搬送件数の62%が65歳以上であり、今後も高齢化に伴うさらなる救急需要の増加が予想されます。そこで、救急空白地域の発生を防ぎ、救急体制のより一層の強化を図るために、令和5年12月から県内初の取り組みとしてM.O.A.(機動的救急隊)の運用を開始しました。

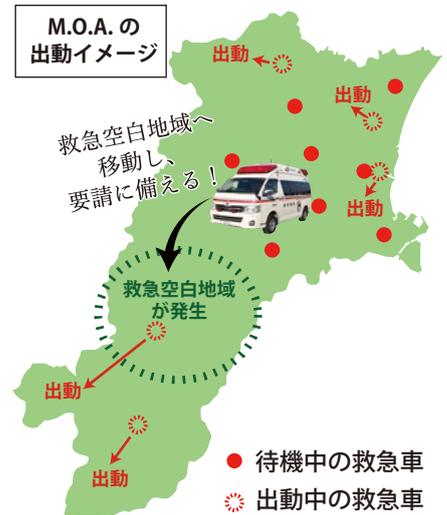


M.O.A. (機動的救急隊)とは

M.O.A.は、救急車の出動により、救急空白地域となった地域をカバーするために、市内の全域に機動的に移動配備できる救急車です。

津市の救急車配備状況

うち1台 M.O.A.		救急車 16台			
久居消防署 2台	北消防署 3台	中消防署 2台	白山消防署 1台		
南分署 1台	河芸分署 1台	西分署 1台	一志分署 1台		
美里分署 1台	芸濃分署 1台	安濃分署 1台	美杉分署 1台		



M.O.A. 発案者の思い

救急救命士が少しでも早く現場に到着できるよう、M.O.A.の仕組みを提案しました。



M.O.A.を運用していくことで、津市の救急体制の強化を図れるだけでなく、患者さんやご家族、市民の皆さんの安心にもつながると思います。

また、M.O.A.は救急出動件数の約51%を占める8時から17時に運用するので、育児などの理由で24時間勤務が困難だった救急救命士が活躍する場になることも期待しています!

救急救命士の小野さん



**ブルーラインのM.O.A.を見かけたら
 救急出動がひっ迫しているサイン!
 救急車の適正利用にご協力ください。**